

過灌流症候群高リスク例に対する頸動脈ステント留置術に 関する後向き研究

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2007年10月1日～2014年3月31日の間に、頸動脈狭窄症で入院し、頸動脈ステント留置術または血管形成術を受けられた方

【研究課題名】過灌流症候群高リスク例に対する頸動脈ステント留置術に関する後ろ向き研究

【主任研究者】岡山大学 脳神経外科 杉生 憲志 兵庫医科大学 脳神経外科 吉村 紳一

【目的】過灌流症候群高リスクの頸動脈狭窄症に対し、頸動脈ステント留置術または血管形成術を実施された患者における、過灌流症候群発症に関連する因子を調査するため。

【利用するカルテ情報・資料】診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、画像検査、治療経過

【研究期間】2015年8月2016年3月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保存いたします。

【問合せ先】本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。

済生会福岡総合病院 神経内科 中垣 英明

電話 092-771-8151(代表)